

夏の交通安全

やまびこ運動

運動の重点

期間 7月11日～7月20日

YouTube配信動画 長野県警察公式チャンネル
横断歩道ルール・マナーアッププロジェクト動画はこちら



CM Ver.



Long Ver.

1 横断歩道におけるルール遵守とマナーアップ行動の実践

～ドライバーの皆さんへ～

- ①横断歩道の手前で減速
- ②歩行者がいるか確認
- ③歩行者がいたら必ず停止



～歩行者の皆さんへ～

- ①横断歩道を渡る
- ②手を上げて横断する意図を伝える



2 自転車等利用時の交通ルール遵守とヘルメットの着用

- ①自転車や特定小型原動機付自転車に乗る時は、命を守るためにヘルメットを着用しましょう
- ②交差点では一時停止や徐行をして左右の安全確認を確実にしましょう

3 高齢者の交通事故防止

～高齢者の皆さんへ～

- ①通り慣れた道であっても、油断せずしっかりと安全確認をしましょう
- ②運転に不安を感じたら、家族や安全運転相談窓口（#8080）などに相談しましょう
- ③安全運転サポート車（サボカー）への乗り換えや安全運転支援機能の後付けを検討しましょう



4 飲酒運転の根絶と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行

- ①飲酒運転は重大事故の原因になり、多くの人の人生を台無しにします
- ②「思いやり」と「ゆずり合い」の気持ちを持って、安全な速度と方法で運転しましょう
- ③時間に余裕を持って行動し、ゆとりある運転を心掛けましょう

少年の非行・犯罪被害防止

と有害環境浄化

☆「非行」は子供からの「SOS」

7月は『青少年の非行・被害防止全国強調月間』です。
少年の非行・被害防止のため、家庭・職場・地域など
社会全体が一体となって、『非行少年を生まない社会づくり』
を推進し、青少年の健やかな成長を見守りましょう。

※保護者の皆さん、

子供が発するサイン(SOS)を見落とさないで！

- 1 帰宅時間が遅くなったり、無断外泊をする。
- 2 友達の名前や外出先を言いたがらない
- 3 服装(見た目)が派手になった 等

これらのサイン(SOS)があれば、親子でしっかりと話し合しましょう。

☆危険！ネット犯罪

～人生が「詰む(終わる)」かも～

オンラインゲームを含む交流サイト『SNS』等の利用がきっかけで
『殺人・誘拐・性犯罪・闇バイト』等

重大な犯罪に巻き込まれる可能性があります。

子供たちを犯罪の被害者にも加害者にもさせないためには、過度に
制限するのではなく、成長段階に応じてリテラシー(適切に理解し活用
する力)を身につけ、子ども自身が適切に判断できることが重要です。

※犯罪に遭わないために！

- 1 親子でインターネット・SNS等使用上のルールを決める。
- 2 スマートフォン等は、必ずフィルタリングを利用する。
- 3 知らない人と連絡を取らない(個人情報教えない)。
- 4 SNS(オンラインゲーム)内で知り合った人とむやみに会わない。

少年に関する相談は、24時間対応のヤングテレホンへ

026-232-4970 (長野県警察本部生活安全企画課)



夏山遭難防止



いよいよ夏山シーズンとなり、山岳遭難が多発するシーズン
でもあります。

昨年7月、8月の夏山期間中の山岳遭難は、
発生件数は116件で、遭難者数は死者15人、
行方不明者1人、負傷者53人、無事救出者56人
の合計125人を記録しました。

遭難の態様としては、転倒や転落・滑落が最も多く、
下山中の遭難が目立ちます。

疲労や道迷いによる行動不能遭難也多発しています。

年齢別では、40歳～50歳代が約3割、60歳以上が
約6割で、40歳以上の中高年齢層の遭難者が全体の
約9割を占めています。

登山は観光ではなく、危険を伴うスポーツであることを理解し、
自分の体力・技術・経験に合った山を選び、
次の点に注意してください。

①登山計画の作成と共有

自身に見合った計画を立て計画は家族等と共有する。

②最新の気象情報を確認

最新の気象情報を確認。悪天候の時は入山を控える。

③もしもに備えた装備品の携行

ヘッドライト、雨具、簡易シェルターは必携。

スマホの予備電池も。

④体調管理を万全に

登山は持久力が必要な『スポーツ』です。

⑤適切な栄養と水分補給

夏山では脱水症状や熱中症に要注意。

